

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公表番号】特表2002-544294(P2002-544294A)

【公表日】平成14年12月24日(2002.12.24)

【出願番号】特願2000-616246(P2000-616246)

【国際特許分類】

C 08 F 2/00 (2006.01)

C 08 F 2/34 (2006.01)

C 08 F 10/00 (2006.01)

【F I】

C 08 F 2/00 F

C 08 F 2/34

C 08 F 10/00

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月2日(2007.5.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】プロセス促進添加剤の存在下にメタロセン触媒と助触媒とを用いる流動床反応器からなる重合帯域におけるエチレンの連続気相(共)重合に際しポリエチレンの流動性および/またはポリエチレンの流動化特性を向上させる方法において、

該プロセス促進添加剤を該触媒もしくは該助触媒と混合して添加せず、且つ該プロセス促進添加剤は：

(1)ポリスルホンコポリマー、

(2)高分子ポリアミン、および

(3)油溶性スルホン酸

から選択される成分の少なくとも1種を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】プロセス促進添加剤を重合帯域に直接添加する請求項1に記載の方法。

【請求項3】プロセス促進添加剤を流動床反応重合帯域に直接添加する請求項2に記載の方法。

【請求項4】プロセス促進添加剤の添加が連続的である請求項1～3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】プロセス促進添加剤が上記成分(1)、(2)および(3)から選択される少なくとも2種の成分を含む請求項1～4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項6】プロセス促進添加剤が(1)と(2)と(3)との混合物からなる請求項5に記載の方法。

【請求項7】プロセス促進添加剤が約5～70重量%のポリスルホンコポリマーと5～70重量%の高分子ポリアミンと5～70重量%の油溶性スルホン酸とからなる請求項1～6のいずれか一項に記載の方法。

【請求項8】プロセス促進添加剤が、反応器中へ導入される全オレフィンの1000000重量部当たり約0.3～約70重量部、好ましくは約0.9～約35重量部である請求項1～7のいずれか一項に記載の方法。

【請求項9】反応器には、メタロセン触媒を反応器中へ導入する前に前記プロセス

促進添加剤を予備充填する請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】 予備充填を種床ポリマーにのみ行う請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】 適宜のコモノマーを使用する方法であり、該コモノマーをブト - 1 - エン、ヘキシ - 1 - エンもしくは 4 - メチルpent - 1 - エンから選択する請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の方法。

【請求項 12】 請求項 1 ~ 11 のいずれかに記載の方法により得られるエチレン (コ) ポリマー。